

7月臨時教育委員会会議録

- 1 日程 令和元年7月29日(月)
- 2 場所 市民総合体育館 心技館2階 会議室1
- 3 案件
○ 会議録署名委員の指定について
(1) 議案
第15号 教科用図書採択について
- 4 出席者
教育長 濱崎 徹
教育委員(教育長職務代理者) 藤本 英生
教育委員 糸野 聡史
教育委員 福村 尚子
教育委員 足立 敦子
- 5 事務局出席者 教育部長(教科用図書選定委員長)、
教育部理事兼次長(教科用図書選定副委員長)
教育総務課長、学校教育課長、学校教育課課長代理兼チーフ、
学校教育課主幹、学校教育課主幹、学校教育課主幹
- 6 書記 教育総務課主幹
- 7 傍聴者 17人

午後1時00分 委員会開会を宣して日程に入る。

○教育長

只今から、臨時教育委員会を開会いたします。

委員の皆様には、少し長時間になるかと思いますが、ご協力のほどよろしく願います。

本日の臨時教育委員会の案件は、「令和2年度使用小学校教科用図書の採択」及び特別の教科道徳以外の「令和2年度使用中学校教科用図書の採択」となっております。

本日の会議録の署名は、足立委員にお願い致します。

最初に、「令和2年度使用小学校教科用図書の採択」を行います。委員の先生方には、選定委員会の答申を踏まえながら、学習指導要領の趣旨を踏まえ、本市の実態も考慮した、最適な教科書を採択するために、幅広い審議をお願いします。

去る7月17日に藤井寺市立学校教科用図書選定委員会の答申を受けました。答申では、藤井寺市によりふさわしいと考えられる教科用図書の推薦もしていただい

ております。本日は、その答申内容も参考にしながら審議し、採択を行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

○委員一同

異議なし

○教育長

それでは、国語の教科用図書採択を行います。採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

それでは、国語の採択候補図書4社についての特色等、説明をさせていただきます。まず東京書籍でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、「目標・内容の取扱い」「組織・配列」「創意工夫」に特徴がございます。言葉を通して、的確に理解し、論理的に思考し表現する能力、互いの立場や考えを尊重して伝え合う能力を育成し、言語文化にふれて感性や情緒力を育成するよう十分配慮がなされています。このような理由から、選定委員会は東京書籍を推薦しております。

次に学校図書でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「創意工夫」「人権の取扱い」「発展的な学習」に特徴がございます。点字だけでなく全盲の方のエッセーを載せ、ユニバーサルデザインの観点や障がい者教育につながるよう配慮されています。

次に教育出版でございますが、各項目で配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「内容の程度」「創意工夫」に特徴がございます。低学年から図書館の利用方法が分かりやすいように紹介され、学校図書館の利用や、更なる読書活動につながるよう工夫されています。

最後に光村図書でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「目標内容の取扱い」「創意工夫」「組織・配列」に特徴がみられます。「読むこと」の單元には扉を設けており、その単元の学習内容の確認と、物語にいざなう導入が工夫され、児童が見通しをもって学習が進められるよう十分配慮されています。このような理由から、選定委員会は光村図書を推薦しております。

以上です。

○教育長

ただいま、委員長から説明がございましたが、委員の先生方で、選定委員会に何か質問があればお願いします。

○委員

それぞれの特色はわかりました。昨今、子どもたちの言語能力を育むことが大切であり、国語科で果たす役割は大きいのではないかと思うのですが、選定委員会では、

どんな点が議論されていたのか、教えていただけませんか。

○選定委員長

選定委員会では、言語能力の育成の観点も含めて、それぞれの教科書の特色や工夫・配慮などはもちろんですが、子どもたちが主体的・対話的に学べる観点について意見が出ました。藤井寺市の子どもたちにとってわかりやすい教材はどのようなものか、学習を進めていく中で話し合ったりしやすいのはどのようなところか、などが議論されました。

○教育長

委員長から説明がありました「子どもたちが主体的に学んでいく」という観点で考えたときに、ご意見ございますでしょうか。

○委員

どの1年生の教科書にも『おおきな かぶ』という教材が掲載されています。子どもたち自身でお話を楽しめるかどうかはもちろん、子どもたち同士のやり取りも含め、色々な学習の展開が考えられるなど感じました。その中で、光村図書の教科書では、教材の後ろにみんなと一緒にお話を読んだり、動きながら声に出して活動したりできるように、イラストも添えて分かりやすく掲載しています。

○教育長

光村図書1年生の68ページですね。「お話しをみんなで楽しみましょう」というところで出てきますね。

他に何かございませんか。

○委員

その点で言いますと、東京書籍や学校図書にも同じように取り上げられています。私はさらに、東京書籍1年上の84ページの挿し絵が、ダイナミックな印象を受けました。子どもたちに、かぶの大きさが伝わりやすい挿し絵で、教科書内に描ききらずにはみ出した描写が、1年生の子どもたちの想像を膨らませ、興味・関心を高めています。子どもたちが、お話を楽しめる要素の一つではないかと思います。

○委員

私も東京書籍を見て同じ印象を受けました。さらに、はじめのページを見比べてみますと、東京書籍では大きなかぶを眺めるおじいさんの挿し絵が載せてあります。文章の区切り方も工夫され、この後どうなっていくのか、子どもたちが次のページを読み進めたいくなるように配慮されていると思いました。

○教育長

今ずっと挿絵の話が出ていますが、少し視点は変えてみて、今回の新学習指導要領の改訂のポイントとして、言語活動の充実があげられております。全社ともそういった観点を含めたつくりになっていると思うのですが、委員の皆さんは、この点について

てご意見はございますでしょうか。

○委員

教育出版の4年下36ページの「新スポーツを考えよう」では、だれとスポーツをやりたいか考えるのですが、グループでの話し合い、発表、説明、討論などの活動を通じて、言語活動に触れられるよう工夫されています。また、司会や記録など役割分担をして、話し合いの進め方を学ぶことができるよう配慮されているように思います。

○委員

学校図書でも、話し合いの場が各学年で設定されています。1年生下の「クイズ大会をしよう」から6年生では「パネルディスカッション」まで、系統的に学ぶことができるよう工夫されています。また、発表やプレゼンについても同じように、各学年で発達段階に応じて扱われているように思います。

○教育長

ずっと言語活動の話が続いていますが、光村図書においても、3年上116ページの「山小屋で三日間過ごすなら」では、自然と子どもたちが話したくなるような課題を設定しています。考え方の違う友だちと付箋を使って考えを出し合い、やりたいことをグループに分けて必要なもの考えるなど、どんな教科でも使えるような対話スキルを伸ばすことができるようになっていきます。国語科は、すべての教科の基本になるので、こういった力をしっかりと定着させることが大切だと思います。

他にご意見はございませんか。

○委員

少し観点が変わりますが、東京書籍5年生の78ページを見ていただけますか。新聞について学ぶ単元がどの会社でもあるのですが、この東京書籍の新聞記事は、写真やイラストが大きく、とても分かりやすくなっていると思います。また、写真もアップかロングのどちらを使用するかなど、何をすれば効果的かを考えさせる題材が紹介されています。また、言葉の説明が端的に示されていて、小さい字で分かりにくい新聞のイメージが東京書籍には少ないように思います。

○教育長

新聞ということでは、どうですか。

○委員

私も新聞の書き手（作り手）の意図に迫っているのは、東京書籍だと思います。2社の新聞を比較するページが各社あるのですが、東京書籍は、たくさんのページを割いて、写真と文章の関係や共通点・相違点を確認しながら学習が進んでいきます。他の教科書会社は、サラッと比較しているだけのように感じました。こういった作り手の視点は、他の教科での新聞作成やレポート作成にも役立ちますし、発表の際も参考になるのではないかと思います。

○委員

新聞の単元は、私も注目していたのですが、本当に東京書籍は、学習内容を豊富に取り入れているなど感じていました。委員がおっしゃったように、新聞を分析すること、作り手の意図を考えることは、メディアリテラシーを考える上でも、非常に重要だと思います。こういった考え方は、テレビやインターネットの読み解きにもつながり、現代を生きる子どもたちには必須の力であると思います。

○教育長

メディアリテラシーということにも、触れていただきました。他に意見はないでしょうか

○教育長

各委員よりご意見を聞かせていただきました。そのうえで、私は、藤井寺市にふさわしい教科書を採択するにあたって、国語科においては、言語活動を軸に学習内容が組みられていることや子どもたちにとってわかりやすいことが大切であると思います。また、主体的対話的に取り組めることも重要であるというのが主な意見だったと思います。

他に意見がないようでしたら、採決を取ります。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

東京書籍 5 人、学校図書 0 人、教育出版 0 人、光村図書 0 人

○教育長

東京書籍が 5 名挙手されていますので、採決の結果、国語は、東京書籍株式会社を採択いたします。よろしいでしょうか

○委員一同

異議なし

○教育長

それでは、続いて書写の教科用図書採択を行います。採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

書写の採択候補図書 5 社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず東京書籍でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「創意工夫」に特色がございます。毛筆の筆遣いを生かして、硬筆学習につながるよう工夫されていたり、毎時間に学習する内容を「かぎ」としてまとめ、わかりやすいようによく配慮されています。このような理由から、選定委員会で推薦されております。

次に学校図書でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「組織・配列」

「創意工夫」に特色がみられます。「学習の進め方」が設定され、「たしかめて書こう」「考えて書こう」「生かして書こう」まで、各学年、統一した順序で学習できるように工夫されています。

次に教育出版でございますが、バランスよく配慮がなされ、特に「内容の程度」「創意工夫」に特色がみられます。点画の種類を一覧で表示し、学習に生かせるように配慮されていたり、水書きシートを使って運筆を繰り返し、硬筆に生かせるよう工夫されています。

次に光村図書でございますが、あらゆる項目に配慮がなされ、特に「目標・内容の取扱い」「内容の程度」「創意工夫」に特色がみられます。文字を書く上で大切な箇所がわかるよう適切に説明されていたり、他教科との関連教材を設け、日常生活にも生かせる書写の知識・技能が習得できるよう配慮されております。このような理由から、選定委員会で推薦されております。

最後に日本文教出版でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「内容の程度」「創意工夫」に特色がみられます。主体的に学習できるように配慮されていたり、毛筆の筆遣いを生かして、硬筆学習につながるよう工夫されております。また、筆遣いを系統立てて学習できるように配慮されていたり、目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くように配慮されております。このような理由から、選定委員会で推薦されております。

以上です。

○教育長

それでは、委員のみなさま、書写の審議をお願いします。

○委員

学習の進め方や姿勢・用具の扱い方などの基本的な事項については、すべての教科書において丁寧に掲載されています。

教育出版の1年生の4ページを見てください。鉛筆の持ち方について、つまみ方から具体的に分かりやすく示されています。

また、東京書籍では「ぺたぴんとん」の合図で姿勢の気を付けるポイントを分かりやすく示しています。

例えば同じ1年生の2ページをご覧ください。東京書籍ではさらに、低学年で「書写たいそう」が取り入れられて、全ての子どもたちへの配慮が感じられます。

○教育長

私も、書写で正しく字を書くためには、その基本として姿勢や筆や鉛筆の持ち方はとても大切だと思います。基本という視点でいうと、3年生から始まる毛筆の取扱いですが、光村図書の3年生の12ページを開けてください。猫のイラストでリズムよく運筆を示していたり、穂先のイラストの表情で筆遣いをわかりやすく説明しています。

○委員

確かに初めて毛筆を学習するにあたって、子どもたちにも親しみを感じられると思います。日本文教出版でも、そのような工夫が見られます。3年生の11ページを見ていただくと、穂先のイラストで筆遣いについての説明に加えて、筆圧についても分かりやすく解説が示してあります。

また、筆運びや筆圧の強弱が色の濃淡で視覚的にわかるように工夫されている点も、子どもたちにとって理解しやすく、よいと思います。

○委員

毛筆の学習を、硬筆や普段の字を書く習慣に、つなげていくことは大切ではないかと思います。その点でいうと、学校図書では、「学習の進め方」がはじめに示され、「たしかめて書こう」「考えて書こう」「生かして書こう」の流れのなかで、子どもたちが普段の生活を意識できるよう工夫されています。

○委員

同じ事は日本文教出版でも言えると思います。「考える」「たしかめる」「いかす」の流れがすべての教材でしめされ、「いかす」において硬筆で締めくくる流れが形づけられ、書写での学習が普段に生かされるように工夫されていると思いました。

○委員

確かに、普段の生活に生かすための工夫は何より重要だと思います。加えまして、私も日本文教出版は、他教科や日常の生活と密接した作りになっている点でよいと思いました。例えば、6年生の26ページを見てください。各場面や目的を考えて書くという学習を取り入れています。さらに36ページ以降では、他教科や様々な生活シーンで活用できそうな題材を取り入れています。

○委員

日常に生かすという点においては、光村図書も配慮されています。6年生の19ページからご覧ください。書写ブックと題して、子どもたちが今まで色々と学んだことを、手紙やはがき、新聞など、生活の様々な場面で活用できるような工夫が見られます。

また、4年生の教科書の裏表紙もご覧ください。「紙やすみ、すずりができるまで」が掲載されており、書写に関連して、子どもたちのもっと知りたいという興味関心にも配慮されていると感じました。

○教育長

各委員よりご意見を聞かせていただくなかで、書写では、正しい姿勢や、筆や鉛筆の持ち方など、基本をしっかりと身に付けていくことが大切であること、また、普段の生活の中で「書くこと」によって技能が向上していくことを目的としていますので、書写ではより生活に生かす工夫等がなされていること、このような内容が掲載されている教科書が一番だと思います。

藤井寺市の子どもたちが、身に付けた技能を日常で使えるようになることが大切だというのが主な意見だったと思います。

もし他にご意見がないようでしたら、採決に移りたいと思いますがいかがですか。それでは、みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

東京書籍 0 人、学校図書 0 人、教育出版 0 人、
光村図書 2 人、日本文教出版 3 人

○教育長

日本文教出版が 3 名挙手されていますので、採決の結果、書写は、日本文教出版株式会社を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

異議なし

○教育長

続いて、社会科の教科用図書採択を行います。採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

社会科の採択候補図書 3 社についての特色等、説明させていただきます。

まず、東京書籍でございますが、バランスのよい配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「創意工夫」に特色がございます。その中でも、主体的に問題解決学習に取り組めるよう「学習の進め方」が記載されており、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という段階的に学習を進める事ができるよう工夫されています。

次に教育出版でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「創意工夫」に特色がございます。その中でも、疑問に思ったことや知りたいことが整理しやすいように、各単元の末尾に学習をまとめる「学びのてびき」コーナーが設けられており、社会生活についての理解や情報を調べまとめるための工夫がなされています。このような理由から、選定委員会は教育出版を推薦しております。

最後に日本文教出版でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「人権の取扱い」「目標・内容の取扱い」に特色がございます。「見方・考え方」のコーナーで「空間」「時間」「関係」の観点で児童への問いかけが示されており、これらの問いに考えながら学習を進めることで、児童が多角的に考えたり、判断したりできるような工夫がされています。また、大阪府や近畿地方の地域事例が多く、児童の生活と結び付けて考えられるような工夫がなされています。このような理由から、選定委員会は日本文教出版を推薦しております。

以上です。

○教育長

それでは、社会科の審議をお願いします。

○委員

ご説明ありがとうございます。審議に入る前に、選定委員会でどんな点が議論の柱になっていたのか教えていただけませんか。

○選定委員長

選定委員会では、学習内容を理解していく上で手助けとなる「写真・挿絵等が子どもたちの興味関心を高めるものであるか」「本文と資料の関連性が分かりやすく示されているか」「子どもたちの主体的な学習、対話的な学習を進める構成になっているか」等が議論の柱となりました。

○教育長

3つほど、議論の柱となった点を挙げていただきましたが、その1つにもありますように、社会科では写真や表などの資料が重要です。その点で、日本文教出版には特徴があると思います。

例えば、日本文教出版の3年生84、85ページを開けてください。「スーパーマーケットのよさを話し合う」単元です。見開きで非常に大きく写真が掲載されており、これにより、子どもたちの興味や関心を引き出し、児童による主体的な話し合い活動がおこなわれ、探求心も育てるきっかけになると思います。

○委員

私も表や写真などの資料が重要だと思います。その点では、教育出版も工夫されていると思います。例えば5年生62ページ、63ページです。「米の生産地」に関する単元ですが、大きな地図と写真を見開きで掲載しているため、写真を参考にどのような地形利用になっているのかをわかりやすく地図で捉えることができるようになっています。この点で、私は、教育出版がよいと思います。

○委員

観点は変わりますが、学習のまとめと振り返りをどのように工夫しているかも重要だと思います。各社の教科書を見ますと、全社、それぞれの工夫がなされていますが、わたしは日本文教出版がいいと思います。

例えば、6年生120ページ、121ページを見てください。「私たちの学びをいかそう」コーナーがありますが、効果的に資料やコラムが掲載され、児童の興味関心を抱かせたり、これまで学習してきた内容を振り返り、自主的な学習活動が行えるような工夫がされていると思いました。

○委員

その点では、東京書籍も学習のまとめをわかりやすく整理しております。各学年の巻末に「どのように学んだのか振り返ろう」のコーナーが掲載されています。各学年で学んだことを改めて関連付け、主体的で、対話的な学びの実現のため様々な学習方

法を提案していると感じました。

○教育長

私は、小学校の社会科の学習では藤井寺や大阪といった地域学習についてどのように工夫されているかも重要だと思います。

日本文教出版は、5年生248ページで、地域事例として「大和川わたしたちのくらし」が掲載されています。本市では4年生で大和川のつけかえについて学習しますが、また違う内容で、改めて5年生で学習をすることで、児童の生活と結び付けて考えることができるのではないかと感じました。

○委員

社会科を学習する上で人権の取扱いも重要なポイントになるはずですが、人権の取扱いという点では、私は日本文教出版を推薦します。人権・福祉や平和・国際社会、防災・安全について取り組むことができる教材が充実しているように思いました。

また、6年14ページから17ページを見てください。6年の基本的人権の尊重に関する学習では自治体での取り組みや、子どもの権利条約、障がい者差別解消法などが取り上げられ、人権尊重について認識が深められるよう配慮されているように感じました。

○教育長

他に意見はないでしょうか。

各委員よりご意見を聞かせていただきました。藤井寺市の子どもたちにふさわしい教科書を採択するにあたって、社会科においては、社会的な見方・考え方をはたらかせ、主体的・対話的で深い学びが実現する力を育むことが大切であるということが主な意見だったと思います。もし、他に意見がないようでしたら、採決に入っていきたいと思います。

それでは、採決をとります。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

東京書籍0人、教育出版1人、日本文教出版4人

○教育長

日本文教出版が4名挙手されていますので、採決の結果、社会科は、日本文教出版株式会社を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

異議なし

○教育長

続いて、地図の教科用図書採択を行います。採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

地図の採択候補図書2社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず、東京書籍でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「内容の程度」「創意工夫」「組織・配列」に特色がございます。例えば、登場人物が出すクイズなどの作業を通して、都道府県に興味をもち、覚えることができるように工夫されています。また、巻末に自然災害と防災について写真が多く掲載され、災害について理解できるように工夫されています。さらに、日本の歴史を学びながら同時代の世界の様子を関連付けて学べるように、主な時代ごとに地図を配置し、6年生の学習内容に関連できるよう工夫されています。

次に帝国書院でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「創意工夫」「内容の取扱い」「内容の程度」に特色がございます。例えば、「地図マスターへの道」のコーナーを特設し、クイズに地図帳を活用するよう工夫され、巻末に「答え」と「まとめのぬりつぶし」があるなど、児童が自ら意欲的に学習できるよう配慮されています。また、学習上重要な歴史地名や世界文化遺産をそれぞれ青色・緑色で端的に表し、随所に理解を助けるための写真資料も適切に取り上げられています。

さらに、日本各地で起こりうる災害を例示し、そこから身の回りの防災と自らの行動について、児童が主体的に考え、実際の防災マップ作りへと発展的学習に取り組めるよう配慮されています。このような理由から、選定委員会は帝国書院を推薦しております。

以上です。

○教育長

それでは、地図の審議をお願いします。

○委員

新学習指導要領では、3年生から社会科において本格的に地図帳を活用するという観点から、地図の活用に対して子どもたちがいかに興味を持てるかがポイントの1つであると思います。

それでいうと帝国書院は、先程の説明でもありましたが、117ページに「地図マスターへの道」のコーナーを特設し、クイズで地図帳を活用していく活動を取り入れており、地図を初めて扱う子どもにとって、また教える教員にとっても、使いやすいと思いました。

○委員

私は、地図を初めて扱う子どもの目線で考えると、まず東京書籍の表紙をパッと見て、行ってみたいなあ興味をわきました。あと東京書籍も、5ページにはクイズで都道府県に関心を持てるように工夫されています。さらに、あちこちで登場人物たちの吹き出しがあって、読んでいだけでも地図に引き込まれるような工夫があると思います。

○委員

私も地図の見やすさという点で東京書籍の地図が優れていると思います。大きな字

で見やすく整理されていて、子どもが地図を使っていく上で、見やすく使いやすい点で、十分配慮されていると感じました。

○委員

私は色使いという点で、帝国書院の方が見やすいかと思います。高低差がはっきりと分かるようになっており、山の色もきれいな発色をしています。また、何より、地図で表されているエリアが広く、地方ごとに地図がまとめられていて、地域のつながりが、子どもたちにとっても、つかみやすいのではないかなと思いました。

○教育長

委員からも委員からも地図の見やすさという点でご意見をいただきました。確かに見やすさや使いやすさも大切なことだと思いますが、何より藤井寺市に住む子どもにとっては、地図帳で藤井寺市を探すことも興味のあることだと考えています。東京書籍における「藤井寺市」の記述があるのは34ページ、一方帝国書院における「藤井寺市」の記述があるのは46ページ、48ページ、基本的に帝国書院の方が、近畿地方においてより詳細な取り扱いをしております。藤井寺市だけでなく、藤井寺市の位置関係についても把握するうえで、私は帝国書院の方が良いと考えています。

○委員

今お話しいただきましたところを見てもと、帝国書院の48ページ、ちょうど4年生の社会科で学習する「大和川のつけかえ」について、絵のイラストも示されています。藤井寺市の子どもたちにとって、より関心の高い内容が掲載されていると思います。

○委員

地図を活用する力をつけるといった視点で見ると、両方の地図帳に歴史上の戦いの場所の記載があり、歴史学習と関連付けた活用ができるよう十分な配慮があります。さらに今日的課題である防災教育について見ますと、帝国書院の地図帳では、日本各地で起こりうる災害を例示しています。91ページですが、様々な資料をもとに子どもが主体的に考え、発展的な学習として、実際の防災マップ作りへとつながるような工夫がなされています。

○教育長

色々な意見を出していただきました。地図の活用に関して、子どもがいかに関心を持てるか、地図に引き込まれそうなどという表現もございましたが、見やすさ、藤井寺市に関連して、また防災などの今日的な課題について、様々なご意見をいただいたところです。他にご意見はないでしょうか。

そうしましたら、採決を取りたいと思います。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

東京書籍2人、帝国書院3人

○教育長

帝国書院に3名挙手されましたので、採決の結果、地図は、帝国書院株式会社を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

異議なし

○教育長

続いて、算数の教科用図書採択を行います。採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

算数の採択候補図書6社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず東京書籍でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「創意工夫」に特色がございます。単元の導入前に既習内容をふり返し、定着度を確認できるよう配慮がなされております。また、1年生にとって扱いやすい冊子を用意し、スタートカリキュラムとして小学校の導入を工夫されております。このような理由から、選定委員会で推薦されております。

次に大日本図書でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「創意工夫」に特色がみられます。低学年において、「おうちで算数」のコーナーを盛り込み、学習した内容を生活の中で活かすことができるよう工夫がなされております。

次に学校図書でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「組織・配列」「創意工夫」に特色がございます。導入において、日常生活など身近なことから算数の問題を発見することができるよう工夫されております。また、各学年にプログラミング的活動が、発達段階に応じて盛り込まれております。このような理由から、選定委員会で推薦されております。

次に教育出版でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「創意工夫」に特色がございます。問題発見、解決の過程を吹き出しを使って示し、児童が学びを深める大切な言葉を導き出すような工夫がなされております。

次に啓林館でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「組織・配列」に特色がございます。ページ下段に「もっと練習」といったマークを入れて、時間を持て余してしまった児童に対しても配慮がなされております。また、単元名から始めるのではなく、日常生活に関連した場面を取り入れ、自然と単元の導入につなげるよう配慮がなされております。

最後にもう1社、日本文教出版でございますが、あらゆる項目に配慮がなされてお

り、特に「目標・内容の取扱い」「組織・配列」「創意工夫」に特徴がございます。

関心・意欲を高めるための工夫がなされており、特に単元の導入において、多くの写真を使ったり、操作活動を盛り込むなど配慮がなされています。また、小中連携を意識した内容を6年生で多く盛り込んでおります。このような理由から、選定委員会で推薦されています。

以上です。

○教育長

それでは、算数科の審議をお願いします。

○委員

算数科の学習ではありませんが、子どもが興味・関心をもって、主体的・対話的に学習を進めていくことが何より大切であると考えています。全6社とも単元の導入は、さまざまな工夫がなされているのですが、子どもが自然と課題に向き合える、そして、話し合いがしたくなるような課題設定がされているのは、選定委員会で推薦されている東京書籍、学校図書、日本文教出版になるのかなと思います。

○委員

私も、同じ点について同じような感想を持ちました。選定委員会で推薦されているものだけでなく、啓林館、大日本図書、教育出版についても、単元始めのところで、子どもたちが興味をもって取り組むことができるようにそれぞれに工夫がされているのいいと思いました。

○委員

私は、単元のまとめに注目して各社を比べていたのですが、同じように全社とも工夫がなされ、学んだことを単純に活用・応用するだけでなく、自分の考えや答えを周りの友だちと確認したくなるような課題が取り上げられているように感じました。

○教育長

課題設定やまとめについてご意見をいただいておりますが、子どもたちの興味・関心を高めることは、注目すべき点であると思います。

加えて、私は、算数科では子どもが理解しづらい内容を、いかに分かりやすく提示するかによって、確かな学力が身に付くという点も重要であると思います。その点においては、啓林館は、キャラクターの吹き出しを上手に使うことで、問題解決の流れが分かりやすく提示されています。また、児童の知識・技能の定着度に合わせた練習問題を取り入れるなどの配慮がなされていると思います。

○委員

私は、基礎基本のしっかりとした学力をつけるためには、子どもたちが自然と学習内容を身に着けることができる配慮が必要であると同時に、学習内容の程度や、導入からまとめに至るまでの過程が、藤井寺市の子どもたちの実態に合っているかを考えることが大切だと思います。その点では、日本文教出版は、分かりやすい導入から学

習が始まり、基礎的な内容を1つひとつ丁寧に、段階を経て学習が進められているように感じます。

○教育長

わかる、わかりやすいという言葉も、1つのキーワードとなっていますね。

○委員

少し観点は変わりますが、新学習指導要領では、「データの活用」が領域として注目されています。各社ともしっかり取り上げられています。学校図書は、表やグラフの知識・技能と活用を分けて考えることができるよう工夫されています。特に、5年生下132ページ以降の活用の単元において、146ページの修学旅行のツアーガイドブック作成は、調べ学習や学校図書館利用を含めた興味深い単元内容になっていると思います。

○委員

東京書籍においても、同じく5年生下85ページから帯グラフと円グラフについて取り上げられています。日常生活に関係があるテーマや課題で学習が進められていて、興味・関心を高めるといった観点から考えても面白いと感じました。

○教育長

みんなが好きな給食のメニューについてですね。

先ほど委員からご指摘がございました「データの活用」は、今回の算数・数学科の指導要領改訂の一つの大きなポイントですね。小・中・高等学校教育を通じた統計的な内容の充実が求められています。

日本文教出版の5年下108ページを開けてください。自分で調べたいことや、身のまわりのことについて、既習のグラフや表を利用して発表する流れを丁寧に示しています。こういった問題解決学習こそがまさに求められていると思います。

○委員

私は、「データの活用」だけでなく、プログラミング教育に注目しました。選定委員長からの説明にもありましたが、学校図書の1年生下の70ページ、6年生216ページと見ていただきたいのですが、どの学年にもプログラミング的思考を養う活動が取り入れられています。数学的思考や論理的思考といった観点を学ぶためには、発達段階に合わせて系統的に学習する必要があります。そういった流れが中学校につながると思います。

○教育長

プログラミング教育、まさに子どもの未来につながっていくという視点でご意見をいただきました。

他に意見はないでしょうか。ないようでしたら、採決を取ります。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

東京書籍 0 人、大日本図書 0 人、学校図書 3 人
教育出版 0 人、啓林館 0 人、日本文教 2 人

○教育長

学校図書に 3 名挙手されていますので、採決の結果、算数科は、学校図書株式会社を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

異議なし

○教育長

続いて、理科の教科用図書採択を行います。採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

理科の採択候補図書 5 社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず東京書籍でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「内容の程度」「組織・配列」「創意工夫」に特色があります。児童の理解度や興味・関心などの個人差に配慮して、個に応じた学習に対応できるようによく配慮されています。また学年や単元を横断して、関連する内容を系統立てて取り上げ、学習した知識をまとめたり、活用して概念化を図ったりすることができるよう十分配慮されています。このような理由から、選定委員会で推薦されています。

次に大日本図書でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「内容の程度」「創意工夫」に特色がみられます。思考力、判断力、表現力等を、主として育成する過程には、★マークをつけて強調し、一層の育成を図ることができるように十分配慮されています。また、子どもたちが学習した内容を自分の生活に生かし、またものづくりにおいて、児童の興味・関心や技能に応じて取り組めるよう十分配慮されています。このような理由から、選定委員会で推薦されています。

次に学校図書でございますが、各項目で配慮がなされており、特に「人権の取扱い」「組織・配列」に特色がみられます。観察、実験の手順については、手順を示す文と、観察の視点や配慮事項、注意する点などを分け、流れが児童にとってわかりやすいよう配慮されています。

次に教育出版でございますが、各項目で配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「発展的な学習」に特色がみられます。「比べる」「関係づける」「見通す」「振り返る」など、言語活動の充実をはかりやすいように工夫されています。

最後に啓林館でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「人権の取扱い」「創意工夫」「発展的な学習」に特色があります。単元末に「くらしページ」を

設置し、防災・減災、自然からの恵みを関連づけて扱うことで、防災意識を高め、自然との共存について理解が深まるよう配慮されております。さらに・各学年に「これまでの学習をつなげよう」を設置し、複数の単元で学習したことを、関連づけて考えられるように配慮されております。このような理由から、選定委員会で推薦されております。

以上です。

○教育長

それでは、委員の先生方、理科の審議をお願いします。

○委員

やはり理科では、今お話しいただきましたように、私は何より学習に入る時の子どもたちの興味関心が大切であると思います。その点でいうと、東京書籍の写真の取扱いや表現方法はとてもインパクトがあると思います。例えば、3年生の扉絵もいいのですが、開くと大きな写真に合わせて「なんで？」と書かれています。こういった所も含めて、どの子どもたちも思わず引き込まれてしまうような工夫が、随所にされているように感じました。

○委員

私も子どもたちが引き込まれてしまうような工夫は大切だと思います。それで言うと、啓林館も工夫されていると思います。例えば同じ3年生の42ページを開いてください。大きなヨットの写真が示されており、風が吹いている様子が伝わってくるようなインパクトのある表現だと思います。さらに啓林館は、子どもたちの学びが生活につながる写真を取り上げています。同じ3年生の47ページを開いてください。タンポポの綿毛や強風でこわれた傘など、子どもたちの身近な生活に関わりのある題材を取り上げ、学びが深まるように工夫されているように思います。

○委員

子どもたちの興味関心を高めることは重要ですが、その興味関心が子どもたちの学力につながっていく手立ても大切であると考えます。その点からすると、大日本図書は、細やかな工夫がみられます。例えば、5年生の50ページを開いてください。メダカの写真の視点が2種類用意され、1枚の写真からだけではわからないことを捉えさせ、さらなる探究心につながるような工夫が見られます。

○教育長

今、学力のお話がありましたが、毎時間の授業で、学習内容を確実に理解できるような手立てが「どのように工夫されているか」ということが大切であると思います。その点でいうと、大日本図書はさらに、問題把握から予想、計画、実験、結果、そして考察に至るまでが丁寧に整理されています。また、それぞれの学年で予想や計画、考察など重視すべき項目に★マークを記し、つけるべき力を明確にすることで指導する側もメリハリのある授業が展開できるのではないかと考えられます。

その点では、他にどのようにお考えですか。

○委員

私も、大日本図書は学習の流れが整理されていて分かりやすいと思います。

また、東京書籍もそれぞれの活動が分かりやすく示されているように思いました。

他にも、教育出版は言語活動に特徴があると思いました。例えば3年生の9ページや11ページを見てください。自分の考えを伝えたり、ノートにまとめたりして、表現するための手立てが丁寧に示され、学びを深めるための配慮がなされていると思います。

○委員

理科の基本的な知識について、丁寧に扱っていることも大切であると思います。その点でいうと、学校図書は実験に関して細かに記されています。例えば4年生の196ページから見てください。器具の扱い方や注意点について、子どもたちにわかりやすいように書かれています。

また、少し視点は変わりますが、啓林館の教科書の巻末にも子どもたちの学びを助ける工夫があります。例えば、3年生では植物探検カードや昆虫探検カード、5年生では雲の観察カードなど、野外での活動に生かせる教材が配置されています。

○教育長

皆さんのお話の中で、何より子どもたちの知りたいや調べたいという自然や科学の学習に対する興味関心を高める工夫がいかになされているのか、また子どもたちによる主体的な問題解決の流れがいかに配慮されているか、基本的な事や調べたいことに対応するような資料等が充実されているかというところのご意見をいただいたかと思います。

他に意見はありませんか。ないようでしたら、採決を取ります。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

東京書籍1人、大日本図書3人、学校図書0人
教育出版0人、啓林館1人

○教育長

大日本図書が3名挙手されていますので、採決の結果、理科は、大日本図書を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

異議なし

○教育長

長時間になっておりますので、ここで休憩をとりたいと思います。事務局で時間を設定していただけますか。

○学校教育課長

それでは、10分程度休憩させていただいて、50分から再開したいと思います。

休憩のため、委員会休会を宣する。

午後 2 時 4 0 分

委員会開会を宣して会議に入る。

午後 2 時 5 0 分

○教育長

それでは、休憩前に戻りまして、会議を再開させていただきます。

続きまして、生活の教科用図書採択を行います。採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

生活科の採択候補図書7社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず東京書籍でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「内容の程度」「創意工夫」「発展的な学習」に特色がみられます。他教科と関連付けた活動例の掲載があり、カリキュラムマネジメントを意識した構成となっております。また、1年生の児童が植物の種や花などを見比べやすいよう、ページの幅を少しずつ変えて同時に見ることができる工夫などがございます。このような理由から、選定委員会で推薦されております。

次に大日本図書でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「人権の取扱い」「内容の程度」「創意工夫」に特色がみられます。ページを切り取っての工作や透明シートを使っでの活動など児童が興味をもって取り組めるようになっております。また、あえてモノクロの写真を使うことで想像力を掻き立てるような工夫がございます。このような理由から、選定委員会で推薦されております。

次に学校図書でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「人権の取扱い」「内容の程度」に特色がみられます。絵中心の記録から徐々に文字を使っでの記録になるような記録カードの様式になっており、低学年の発達段階に配慮されています。

次に教育出版でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「創意工夫」「発展的な学習」に特色がみられます。学習課題がクイズ形式で問いかけられているなど、児童が自然と活動への意欲関心を高めていけるような工夫がなされております。

次に光村図書でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「人権の取扱い」「創意工夫」に特色が見られます。児童にとって身近な道具や物を使って、実際にやってみたいと思うような活動が取り上げられており、好奇心や意欲を引き出すような工夫が見られます。

次に啓林館でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「人権の取扱い」「組織・配列」に特色がみられます。全単元を通して生活科の学びのプロセスを考慮した、導入（わくわく）、活動（いきいき）、伝え合う（ぐんぐん）の3段階で構成されており、探究的な学びが身につくように工夫されております。

最後に、日本文教出版でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「人権の取扱い」「創意工夫」「発展的な学習」に特色が見られます。植物の成長過程が一覧できる立体のしかけなど、遊び要素を取り入れながら知的な気づきにつながるような資料があり、児童の主体的な学びを促す工夫がございます。また、巻末の「知恵と技のたからばこ」では気持ちの伝え方などが収録され、日常生活の場面の中で必要とされるスキルや習慣が身につくように工夫されております。このような理由から、選定委員会で推薦されております。

以上です。

○教育長

それでは、生活科の審議をお願いします。

○委員

生活科は低学年の児童が学校で生活すること、学習することに対して、興味・関心をもちながら取り組み、主体的・対話的な学びの基礎をつくっていくということが何より大切であると考えています。7社ともさまざまな活動の工夫がされているのですが、特に児童が関心を持ち、意欲的に活動に向かうことができるように設定されているのは選定委員会で推薦されている東京書籍、大日本図書、日本文教出版になるのかなと思います。

○委員

私も、低学年の児童が関心を持つことができることが大切だと思います。選定委員会で推薦された教科書に加えて、啓林館も「町の工夫をみつけよう」という活動があり、家庭で出かけた時など、より興味を持って町の様子をとらえることができるのでは、と思います。

○委員

東京書籍の上巻巻末の「ほんとうの大きさポケット図鑑」では、さまざまな植物が実物大で掲載されていて、子ども達にとって実に見やすく、興味深いものになっていると思います。本当にその大きさなのか実物を横に並べてみるなど、子ども達の好奇心をかきたてるような工夫ではないでしょうか。

○委員

興味・関心を引き出すという点で、大日本図書の64ページではあえて秋の風景を白黒の写真を使うことで子ども達の想像が掻き立てられ、より紅葉の色彩が強調されるように思います。また、季節ごとに同じ木の下での写真が使われていて、四季による景色の変化がわかりやすくなっていると思います。

○委員

季節の感覚という部分では、日本文教出版下巻の27ページの野菜のさいばい図鑑や種の写真なども季節を感じることができると思います。また、上巻101ページの春の七草など、伝統的な行事ごとも日常生活の中にもうまく取り入れられていると思います。

○教育長

議論いただきましたように、低学年の子どもたちの興味・関心を高め、学習の素地を作っていくことに加えて、生活の中で必要とされるような技能や自然や社会に関する知識をしっかりと身につけさせていくことも、中学年以降の社会科や理科への接続のために必要なのではないのでしょうか。

知識の補充という観点から言えば、各社巻末資料を掲載していますが、私は大日本図書の巻末資料「がくしゅうどうぐばこ」は実に充実していると思います。

○委員

確かにさまざまな活動や図鑑として使えるものが大日本図書には示されていると思います。その中でも、虫や池や川のいきもののページでは、イラストと生き物の名前を別々に掲載することで、見比べながら生き物の名前を覚えるというように、知識を得るための工夫がされているように思います。

○教育長

他に意見はないのでしょうか。ないようでしたら、採決を取ります。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

東京書籍1人、大日本図書4人、学校図書0人、教育出版0人、
光村図書0人、啓林館0人、日本文教出版0人

○教育長

大日本図書に4名挙手されていますので、採決の結果、生活科は、大日本図書株式会社を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

異議なし

○教育長

続いて、音楽科の教科用図書採択を行います。採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

音楽科の採択候補図書2社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず教育芸術社でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「目標・

内容の取扱い」「組織・配列」に特色がみられます。1つの楽曲で、歌唱と器楽の両方の領域が学べる内容を盛り込んでおり、各学年で、技能を習得できるよう工夫がなされており、また、写真やイラストを適宜使用し、リコーダーやリズムを学ぶ上で児童にとって分かりやすい表現方法を使用しています。このような理由から、選定委員会は教育芸術社を推薦しております。

次に教育出版でございますが、バランスよく配慮がなされており、「目標・内容の取扱い」「創意工夫」に特色がみられます。身体性を生かした学習から理解をうながす内容を取り上げることで、音楽に対して親しみを持てるよう工夫されており、また、英語の歌を全学年で取り扱い、発展的な学習にも配慮がなされており、

以上です。

○教育長

それでは、委員の先生方、音楽科の審議をお願いします。

○委員

教育芸術社は、教育出版より教科書の音符や説明文にゆとりがあるように思います。教育出版は、インパクトのある大きな写真が多く、引きつけられる部分はあるのですが、教育芸術社は、子どもたちが、じっくり見なければならぬ音符や説明文の文字が大きかったり、フォントも優しかったりするところがいいなと思います。

○委員

私も、選定委員長の説明にもありましたように、教育芸術社は、写真やイラストが効果的に使用されているように感じました。教育芸術社の3年生の20ページと教育出版の3年生18ページを比較してみてください。ここでは、初めてリコーダーについて学ぶのですが、教育芸術社は、ささえ方、座ったとき、音あなのとじ方と場合に分けて、リコーダーの写真の角度を変えたアングルで表示しています。また、次のページのタンギングについても1ページを割いて分かりやすいイラスト付きで説明するなど大切な工夫がされていると思います。

○委員

私は、逆に教育出版が優れていると思います。選定委員長の説明にもありましたが、体を動かしながら、歌のリズムをとったり、強弱を表現することは大切であり、特に低学年の児童にとって分かりやすいと思います。教育出版の1年生12ページでは、「歌いながら、動きを合わせて遊ぼう」と2人ペアになって学ぶことができるように工夫されています。

○委員

委員がおっしゃるように、音楽というのは、リズムも大切だと思います。学年が上がるにつれて、情緒豊かに表現できるようになるためには、まずは視覚的にリズムを理解していくことも大切だと思います。例えば、リズム表現の提示方法を見ますと、教育芸術社1年生の19ページをご覧ください。個人的な感じ方もあるかもしれませんが

が、「たん」と「うん」の表現が、教育芸術社の方が分かりやすくなっていると思います。

○委員

小学校でも、外国語の授業として、英語が本格的に入ってくることを考えると、各学年で英語の歌を取り上げている教育出版は、英語の授業と横断的な学習に取り組むことができるのではないのでしょうか。ALTと一緒に歌ったりすることができれば、3年生からの英語教育導入にもいい影響が出るように思います。

○教育長

英語科とのカリキュラムマネジメントの観点から、ご意見をいただきましたが、これまでの観点とは違いますが、国歌「君が代」については、2社ともに各学年において掲載されています。教育芸術社は、発達段階に合わせて説明文の内容が変わったり、マナーについて触れるなど、歌詞・楽譜だけではなく、解説や写真を掲載し丁寧に扱われているように感じます。

違った観点からでも結構ですので、他に意見はないのでしょうか。他にないようでしたら、採決を取りたいと思います。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

教育芸術社 4 人、教育出版 1 人

○教育長

教育芸術社が 4 名挙手されていますので、採決の結果、音楽科は、株式会社教育芸術社を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

異議なし

○教育長

続いて、図画工作科の教科用図書採択を行います。採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

図画工作科の採択候補図書 2 社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず、開隆堂でございますが、バランスよく各項目に配慮がなされており、特に「人権の取扱い」「独自項目」に特色があります。その中でも、外国の友達の作品が掲載されており、グローバル化への配慮がされています。また、各巻末に器具の使用方法がわかりやすく記載されており、安全の確保や事故防止について配慮されています。さらに、各活動のページ左上に、使用する用具や材料の絵が掲載されており、活動の見通しがつきやすいように配慮されています。

次に日本文教出版でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「目

標・内容の取扱い」「人権の取扱い」「独自項目」に特色があります。その中でも、題材を通して身につけたい力が、資質・能力の3つの柱（知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性）のそれぞれの観点に応じて示されており、何をどう学ぶのが、分かりやすく提示されています。また、作品の完成写真だけでなく、制作中の表情や気付きなどが掲載されているので、活動のイメージがしやすいなど、各題材において活動の流れがわかりやすいように十分配慮されています。さらに、各教材に「気をつけよう」「かたづけ」など項目が掲載されており、活動の中で注意することがわかりやすく、安全の確保や事故の防止につながるように配慮されています。最後に、古墳を取り上げた作品が掲載されており、本市の世界遺産学習と併せて取り組むことができ、子どもたちの意欲につながりやすくなっています。このような理由から、選定委員会は日本文教出版を推薦しております。

以上です。

○教育長

それでは、図画工作の審議をお願いします。

○委員

材料や用具の取り扱いについては、どちらの教科書にも巻末に記載されております。開隆堂の1・2年上、50ページから開けてください。ここでは「まなびのしりょう」として用具の使い方や注意点が写真やイラストとともに示されています。各学年の発達段階に応じて、わかりやすく示されているのが良いと思います。

また、各教材のはじめには「学習のめあて」が示され、子どもたちが何を学習するのか、理解しやすいように配慮されていると思います。

○委員

学習のめあては、日本文教出版の教科書にも示されています。一番わかりやすい1・2年生の上巻、8ページを開いていただけますか。こちらは、それぞれの観点毎に、「見つけたり工夫したりすること」「感じたり考えたりすること」「活動の中で楽しんですること」をアイコンで示し、それぞれの活動とリンクさせているので、子どもたちにとってもより分かりやすいように思います。

また、最後の振り返りともつながっているので、何を学ぶのが明確になりやすいように工夫されているなと思いました。

○委員

どちらの出版社の教科書を見ても、様々な作品が示してあり、見ただけで子どもたちは創作意欲がわき上がってくるんじゃないかなとこちらも楽しくなってきました。

その中で、日本文教出版は巻頭の「教科書美術館」をはじめ、より発展的に広がっていく工夫があります。例えば、5・6年下の34ページを見てください。「ひらめきポケット」という設定で、子どもたちの創作の新しいヒントになるような題材が示されています。また、その次の36ページも見てください。「図画工作のつながりひろがり」という設定では、子どもたちの生活へと視点を広げています。

図画工作科の教科書は、やはり、子どもが楽しみながら、教科書を取り扱うという点も大事なポイントだと思います。

○教育長

おっしゃるとおり、図画工作科というのは、子どもが見て楽しいと思えるような教科書が、一番に大切な視点かなと思います。

他にご意見はございませんか。

○委員

確かに、子どもたちが楽しみながら創作活動を進めていくことは何よりですが、やはり子どもによっては、活動の中で材料や道具の扱いに試行錯誤するなかで、自分の表現技法に困ってしまうこともたくさんあるのではないかと思います。

その点、私も日本文教出版の教科書で私がいいなと思ったのは、選定委員会の説明にもありましたが、子どもたちの制作中の表情や気付きなどが掲載されていることです。例えば、5・6年生の上の38ページですが、制作に取り組んでいる子どもたちの表情がよく出ており、これが制作途中で悩んでいる子へのヒントになって、教科書の活用方法として、1つの役割を果たすのではないかと感じました。

○委員

教科書の活用という点では、開隆堂も工夫されていると思います。各学年、それぞれの活動の中で、子どもたちの写真に吹き出しをつけて、活動中の気づきや考えを掲載しています。この点を見ても、子どもの創作の表現へのヒントとなるように工夫されていると思います。

○教育長

各委員よりご意見を聞かせていただきましたが、やはり図画工作科の教科書は、子どもたちが創造することの楽しさを感じながら、造形の基礎的な資質を伸ばせること、その役割を果たしうるものが大切であると思いました。

他に意見はないでしょうか。

○委員

私は、選定委員長の説明にもありましたが、日本文教出版の5・6年下の47ページの「ドリームプロジェクト」という設定で、前方後円墳が一例として紹介されているのはポイントだと思います。世界遺産にも登録されましたし、藤井寺市の子どもたちにとって、この身近な話題は、創作意欲を高めるものになるのではないかなと思いました。

○教育長

そうですね。本市では世界遺産学習を行っていますので、そのあたりとのいわゆるカリキュラムマネジメント的な視点が一つ膨らむかなと思います。

他に意見はありませんか。ないようでしたら、採決を取ります。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

開隆堂 1 人、日本文教出版 4 人

○教育長

日本文教出版が 4 名挙手されていますので、採決の結果、図画工作は、日本文教出版株式会社を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

異議なし

○教育長

続いて、家庭科の教科用図書採択を行います。採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

家庭科の採択候補図書 2 社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず、東京書籍でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」、「人権の取り扱い」、「発展的な学習」に特色があります。消費者教育において、自らの生活について考えてから経済の仕組みについて学ぶ構成になっていたり、解説する写真やイラストが丁寧でわかりやすく、児童にとって学びやすいものになっています。このような理由から、選定委員会は東京書籍を推薦しております。

次に開隆堂でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「人権の取扱い」、「創意工夫」、「発展的な学習」に特色があります。実習中に地震や災害が起きたときに、どう行動して身の安全を守るべきかを挿絵を使って考えることができるよう、工夫されております。また、チャレンジコーナーで、子どもの興味を持つ内容を取り上げており、家庭で実践してみようという意欲がわく工夫がされています。

以上です。

○教育長

それでは、家庭科の審議をお願いします。

○委員

選定委員長からの説明にもありましたが、東京書籍の写真やイラストの挿入が効果的で、分かりやすいと感じました。教科書サイズも大きいのですが、例えば東京書籍の 10 ページと開隆堂の 13 ページのお茶を入れるところを比較してみると、東京書籍の方がお茶の入れ方を丁寧にイラストで示したり、同じページで日本の伝統について触れたり、子どもたちに分かりやすくまとめられていると思います。また、東京書籍では、次のページではお茶の種類まで資料として表示してあり、より丁寧だなどという印象を受けました。

○委員

委員がおっしゃるように、お茶の入れ方の部分は、東京書籍の方が丁寧なのですが、ご飯の炊き方は、開隆堂の方が写真をたくさん入れて、分かりやすくなっていると思います。開隆堂は50ページ、東京書籍は42ページになります。

○委員

東京書籍のプロに聞くというコーナーが興味深かったです。先ほどのお茶の入れ方の場面では、JAの方がコメントをしたり、野菜を学ぶ單元では、京野菜生産者のコメントを掲載したりしています。その他いろいろな職種の方のコメントを掲載しているので、仕事についても興味をもってもらえるのではないかと思います。

○委員

少し細かいことかもしれませんが、東京書籍は手順を示している欄のフォントに、優しい誰にでも見やすい文字を使っているように思います。また、包丁の持ち方や食材の切り方を示すイラストも、右利きと左利き両方取り上げるなど、そういったところも配慮がなされ、開隆堂よりもひと手間かかっているように思いました。

○教育長

解説する写真やイラストも大切ですが、議論のテーマが少し細かくなっているように思います。それぞれの教科書において、子どもたちが主体的・対話的に学ぶことができるように工夫がされているかといった点が大きなテーマではないかと思いますので、その視点ではどうですか。

○委員

東京書籍は、単元の最初に「話し合おう」という活動のコーナーを設けており、その単元で学ぶ内容のきっかけづくりをしています。ペアやグループで話し合いをしながら、理論の部分を考えたり、実習をしたりという問題解決の流れができています。また、最後のまとめとして「深めよう」という活動のコーナーを取り入れ、学んだことを友だちや家族に発信できるように配慮されていると感じました。

○委員

私は、各社子どもたちの食生活をどのような導入の仕方で学ぶのか興味があり比較してみました。東京書籍の78ページに「朝食から健康な1日の生活を」が取り上げられているのですが、単純に朝食の話をするのではなく、白ご飯やパン、コーンフレークといった朝食を比べて、それぞれのいいところや役割について考えていくようになっていきます。自分たちの身近な生活の中から、子どもたちが考えたいような工夫がされていると思います。

○委員

食は生きるための基本となるものです。東京書籍では、子どもたちが食を大切に、家庭科の学習を自分の生活に活用できるように、調理実習例が多く掲載されています。主食、主菜、副菜に分けて掲載することで栄養バランスを考え、発展的に家庭で活用することもできるように思いました。

また、最初に委員もおっしゃっていましたが、日本の伝統についてもしっかりと学ぶ必要があります。今の生活スタイルから考えられる課題を、昔はどのようにしていたんだろうかと振り返ることができるように、衣食住すべての題材で、日本の伝統に関する資料を取り入れているのは、東京書籍だと思います。

○教育長

お二人の委員から、食生活に、まず、自分の身近な生活を主体的に考えて活用できるような工夫というお話をいただきましたし、日本の伝統についてもご意見をいただきました。

他に意見はないでしょうか。ないようでしたら、採決を取ります。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

東京書籍 5 人、開隆堂 0 人

○教育長

東京書籍が 5 名挙手されていますので、採決の結果、家庭科は、東京書籍株式会社を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

異議なし

○教育長

続いて、保健の教科用図書採択を行います。採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

保健の採択候補図書 5 社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず、東京書籍でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「人権の取扱い」、「内容の程度」、「創意工夫」に特徴がみられます。各単元において、学習の進め方について①気づく・見つける、②調べる・解決する、③深める・伝える、④まとめる・生かす、⑤関連資料という流れを明確に示されています。このような理由から、選定委員会は東京書籍を推薦しております。

次に、大日本図書でございますが、各項目で配慮がなされており、特に「人権の取扱い」、「発展的な学習」に特徴がございます。男女が共に生活していることを印象付ける挿絵や写真が積極的に使用されており、障がい者スポーツについても取り上げられております。

次に、文教社でございますが、各項目で配慮がなされており、特に「創意工夫」に特徴がみられます。学習のまとめの「わたしの〇〇せん言」で、学んだことを自分の生活に活かす手立てを考えさせるよう工夫されております。

次に、光文書院でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「組織・配列」、「創意工夫」に特徴がみられます。章のはじめにある漫画形式の課題提示の仕方が児童にとってわかりやすくなっており、学習に主体的に取り組む配慮がなされております。このような理由から、選定委員会は光文書院を推薦しております。

最後に、学研教育みらいでございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「内容の程度」、「組織・配列」に特徴がみられます。学習の初めにチェック表があり、自分の生活に目を向ける機会を多くとっており、実生活に結び付けて考えることができるよう、よく配慮がなされております。このような理由から、選定委員会は学研教育みらいを推薦しております。

以上です。

○教育長

それでは、保健の審議をお願いします。

○委員

保健は健康で安全な生活をおくる力を育てる教科で、健康についての題材を多く扱っています。その中で、「がん教育」についての扱いですが、東京書籍は、大腸の実際の写真を載せることにより、わかりやすい資料となっていると感じます。また、がんを防ぐための12か条は端的でわかりやすく、普段の生活習慣を改善することにより、病気から身を守ることができることに気づける教材になっていると思います。東京書籍の62ページになります。

○教育長

ただいま、委員からお話がありました「がん教育」ですが、私も教材を見比べましたが、光文書院の52ページでは、グラフでがんの死亡率の高さをわかりやすく表示しており、がんの怖さを目で見てわかるよう工夫されていると感じました。他にも、スマートフォンなどの使用による視力の影響のなども記載されており、子どもたちをとりまく健康への影響因子について、うまくとりあげられているなどと思いました。

○委員

薬物乱用についてですが、その危険性についてはどの教科書も記載されていますが、東京書籍と光文書院は、最後に、薬物には絶対手を出さないという決意を宣言するような箇所があり、それがすごくいいなと思いました。東京書籍は73ページ、光文書院は59ページです。どちらも、右下に決意を書く箇所があります。

○委員

文教社5・6年の49ページのように、薬物を勧められたときに、どう断るかを考え記入しているのは、自分自身の断り方を考える機会になると思います。こういったことを事前に考えておくことは、たばこやお酒の誘いとといった他のものにも応用できるので、ペアで実際に実演するなど具体的な状況を考えて、学校の先生も指導できるのではないかと思います。

○委員

私は、心の健康という分野において、学研教育みらいではいじめについて取り上げていることに着目しました。5・6年生の17ページになります。大きな社会問題となっているいじめについて大きく扱い、心に与える影響について触れており、対処などを考えさせる内容になっているのは学研教育みらいの特徴だと思います。

○教育長

どの教科書とも子どもたちの悩みに対しての相談窓口として、様々な機関名やその電話番号などを載せており、いざというときの対応を示されていて子どもの安心につながると思います。特に大日本図書、光文書院、学研教育みらいは大きく扱っており、その点について配慮されていると感じます。

○委員

3・4年で扱う体の発育について、少し述べたいと思います。学研教育みらい3・4年生の27ページを開けていただけますか。初経や精通についての統計をグラフにしている教科書もある中、学研教育みらいは個々によって一人ひとりちがうということにページを割いており、子どもたち一人ひとりの気持ちに配慮していることがうかがえます。

○委員

観点は変わりますが、東京書籍は文字やイラスト、記載の仕方が全体的に見やすく感じました。けがの手当てを扱う資料を見比べましたが、東京書籍5・6年生の43ページの写真や説明が端的で、とてもわかりやすかったと思います。イラストの大きさや鮮明さは、東京書籍の教科書の特徴なのかなと感じました。

○委員

東京書籍は、教科書に書き込む箇所が多く設定されており、気づいたことを適宜書き込むことができるので、子どもにとっては、ノートの取り扱うことができるのではないかと思いました。

○教育長

他に意見はないでしょうか。

初めに、委員から、保健は健康で安全な生活をおくる力を育てる教科とのご意見をいただきましたが、健康問題を自分のこととして主体的に学んで、自分の生活に生かすような配慮がなされている教科書、そのような視点で見たいと思っていましたが、そういった意味で、いろんな意見を出していただいたように思います。他にないようでしたら、採決を取ります。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

東京書籍3人、大日本図書0人、文教社0人
光文書院0人、学研教育みらい2人

○教育長

東京書籍が3名挙手されていますので、採決の結果、保健は、東京書籍を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

異議なし

○教育長

続いて、英語の教科用図書採択を行います。採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

英語の採択候補図書7社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず、東京書籍でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「人権の取扱い」「組織・配列」に特色がございます。どの単元も「聞く」「話す（やり取り、発表）」「読む・書く」の流れで構成されており、目的や場面、状況に応じて、自分の気持ちや考えを伝え合うなど、実際のコミュニケーションに即した基礎的な技能が身につくように配慮がなされています。このような理由から、選定委員会は東京書籍を推薦しております。

次に、開隆堂でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「人権の取扱い」「発展的な学習」に特色がございます。過去形や単数形・複数形など中学校の学習する内容で、つまずきやすい項目を取扱い、小学校で学んだことを中学校へ接続できるような工夫がなされています。このような理由から、選定委員会は開隆堂を推薦しております。

次に、学校図書でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「人権の取扱い」「発展的な学習」に特色がございます。各レッスンにおいて、目標や学習の進め方を明記し、見通しをもちやすいように配慮されています。また、目標表現をくり返し口にすることで、定着を図り、場面を変えたアクティビティにより、理解が深まるように工夫がなされています。

次に、三省堂でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「人権の取扱い」「組織・配列」に特色がございます。登場人物の出身国がインド、オーストラリア、中国、アメリカなど国際色豊かになっており、グローバル化への配慮がなされています。また、コラムにおいて、外国の文化と日本の文化の違いについて触れるなど工夫がなされています。このような理由から、選定委員会は三省堂を推薦しております。

次に、教育出版でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「人権の取扱い」「発展的な学習」に特色がございます。アメリカの手話を取り扱っており、日本

の手話との違いが分かるようになっていいるなど聴覚障がい理解についての配慮がなされております。

次に、光村図書でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「人権の取扱い」に特色がございます。各ユニットにおいて、ホップ（導入）、ステップ（聞く、話す、書く）、ジャンプ（活動）という構成で統一されており、学習の流れが見通しやすいように工夫されています。

最後に、啓林館でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「人権の取扱い」に特色がございます。單元ごとにユニットの目標を明記し、その目標に向けたスモールステップのめあてを各パートに設定することで、見通しを持って学習を進めることができるように配慮されております。

以上です。

○教育長

それでは、英語の審議をお願いします。

○委員

英語の教科書は、今回、新しく新設された教科になるのですが、選定委員長に説明していただき、それぞれの特徴は分かりましたが、選定委員会で、主にどんな点が議論の柱になっていたのか、教えていただけないでしょうか。

○選定委員長

特に選定委員会で議論になった点は大きく2つございます。

1点目は、3、4年で、Let's TryやWe Canを使って英語に親しむ活動を重視していますが、そこから、いかに読み・書きに引き続いて違和感なく導入できるかという点でした。2点目は、実生活の場面設定をもとに、英語を話したり、聞いたりするような工夫がなされているかどうか議論になりました。

○教育長

ありがとうございました。

この間、本市の古墳が世界遺産登録されました。それから、来年は2020東京オリンピック・パラリンピックが開催され、本市においても、これまで以上に外国の方が来られるだろうと予測され、また期待されていることを考えると、また、現実に少しずつ増えつつあるということ踏まえて、英語の学習成果が、普段の生活の中で、子どもたちが活用できたらいいと思います。

そういう観点で見ると、例えば、開隆堂の5年生の60ページ、「ランチメニューを考えよう」では、さまざまな活動を通して、くり返し表現方法や語彙について学習し、学んだことを活用できる場面設定も自然に盛り込まれております。このような内容は他社も同じように扱われているのですが、開隆堂がその流れが一番分かりやすい印象を受けました。

○委員

確かにおっしゃるとおりで、開隆堂はよく考えられていると思います。

ただ、英語の教科書には、何より子どもたちに興味・関心を持たせ、英語が好きとか使ってみたいと感じてもらえるような工夫が必要だと思います。そういった意味では、選定委員長からの説明にもありましたが、東京書籍は、どの単元も聞く、話す、読む・書くの流れを重視して、ペアワークやグループワークを取り入れるように工夫されていると思います。

○委員

やはり今おっしゃったように、英語を好きになってもらわないと中学校へ接続する前に、苦手意識を持たせてしまいます。やはり、子どもたちにとって分かりやすい教科書でなければならないと思います。

その点で、学校図書は、東京書籍と同じように教科書のサイズを大きくして、直接記入しやすいように工夫されています。また、大きなイラストを効果的に活用したり、シャギーという犬を5、6年を通じて登場させることで、学習の進め方を示したりしています。また、定期的に取り上げている「シャギーズストーリー」の絵本コーナーは、子どもにとっても分かりやすく楽しめると思います。例えば、1の31ページを見ていただくと、「シャギーズストーリー」というお話が出てきますが、これが随所に続いていって、物語になっており、それがいいなと私は思いました。

○委員

分かりやすさが大切なことは言うまでもありませんが、教えやすさも同じぐらい大切になるように思います。新設された教科におきましては、小学校の先生にとっても新たに学ばなければいけない教科になります。もちろん、しっかり準備していただいているのは知っているのですが、そういった観点は必要ではないでしょうか。

○教育長

そうですね。委員がおっしゃったように、教えやすさという観点で言いますと、本市は10年前から小学校でALTを活用した授業を進めており、教えやすい教科書とはどういうものかとなってくると、教員とALTがうまく連携して発揮できるような教科書となるのかなと思います。

例えば、三省堂の5年生の40ページを見てください。パノラマという見開きページのイラストを各単元の導入で使用しています。この場面では、さまざまな職業を使ったスモールトークやゲームなどに活かすことができ、教員とALT、子どもたちがいろいろ活用できるのではないかと思います。

○委員

分かりました。導入の部分で言いますと、教育出版、光村図書や啓林館も同じように工夫されていると思います。教育出版の5年72ページでは、折り込み資料として、各都道府県の名所・名物を英語で紹介しており、子どもたちにとって、取り組み易い内容になっていると思います。また、光村図書や啓林館も単元の導入は大きなイラストを使用し、子どもたちが英語を学びたくなるような工夫が見られます。

○委員

少し観点は変わりますが、最初に選定委員会の中で話題になった「3、4年生から5、6年生への接続」を考えると、開隆堂の5年生の冒頭でこれまで学習したことの復習をしたり、すべての単元構成を「聞く・話す」から入ることは、3、4年生の外国語活動で英語に触れてきた子どもにとって、違和感なく授業に入っていけると思います。

○委員

私も、今、おっしゃった通り、接続は非常に大切だと思います。開隆堂は、3、4年生からのスムーズな接続という点で、5年生の6ページでは子どもたちが先に学んでいる「名刺交換」の活動から入っており、その学習の中で自然と「読む」「書く」の活動につなげていくように工夫がされています。子どもたちの慣れた活動を上手に活用して、子どもに抵抗感を持たせることなく、英語の学習に入っていく工夫がなされていると思います。

○委員

私は、3、4年からの接続という点で言いますと、学校図書がいいなと思いました。学校図書1の10ページから20ページまでで、これまで学習した内容の復習を十分に行えるようになっているため、5年生の導入として工夫している教科書だと感じました。

○教育長

そうですね。学校図書のこの部分は突出して長いですね。
他にご意見はございませんか。

○委員

開隆堂は、6年生の巻末102ページから10ページに渡って、中学校へつなげようという項目があります。中学校のつまずきやすい項目を先取りして示していますので、たとえば、過去形、単数・複数形、外来語など視覚的にも分かりやすい工夫をしながら取り上げていることは、評価できるように思います。

○教育長

他に意見はないでしょうか。

英語科は初めての教科ですので、何よりも英語の興味関心を高め、抵抗感なく、英語が好きになって中学校へ行ってほしいという思いが強いです。いろいろそういったことも踏まえてご意見をいただいております。

他にご意見がないようでしたら、採決を取ります。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

東京書籍0人、開隆堂4人、学校図書1人、三省堂0人
教育出版0人、光村図書0人、啓林館0人

○教育長

開隆堂に4名が挙手されていますので、採決の結果、英語は、開隆堂出版株式会社を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

異議なし

○教育長

続いて、特別の教科 道徳の教科用図書採択を行います。採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

特別の教科道徳の採択候補図書8社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず東京書籍でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「人権の取扱い」に特色がみられます。「いじめのない世界へ」というユニット教材を全学年に掲載し、とびらのページでの問題提起、間接的教材、直接的教材の三つの要素から成るユニット式の教材を活用して、いじめをしない、いじめを許さない心を育てるように工夫されています。このような理由から、選定委員会で推薦されております。

次に学校図書でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「人権の取扱い」「創意工夫」に特色がみられます。別冊のワークノート「まなび」がついており、道徳的な価値や課題と出会う「気づき」、その気づきをもとに考え、議論し、深め会えるよう工夫されています。

次に教育出版でございますが、各項目で配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「組織・配列」に特色がみられます。教材ごとに「学びの手引き」が配置され、「考えよう」「深めよう」「つなげよう」など、項目ごとに、授業の流れに沿って学習を整理しやすいよう工夫されています。

次に光村図書でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「組織・配列」に特色がみられます。各題材において、「考えよう・話し合おう」で対話的な学びへ、「つなげよう」で発展的な学びへつながるよう設定され、児童が主体的に見通しを持って活動できるように、工夫されています。

次に日本文教出版でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「人権の取扱い」「内容の程度」に特色がみられます。いじめをなくす態度を育てることを重視し、いじめに関する教材を各学年の発達段階にあわせて掲載されており、いじめをなくすための手立てを考え、共有できるように設定され、いじめを生まない力を引き出すことに十分配慮されています。このような理由から、選定委員会で推薦されております。

次に光文書院でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「創意工夫」に特色がみられます。「みんなでやってみよう！」のコーナーにおいて、ロールプレイでの学習が全学年で示されており、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等が適切に取り入れられるよう工夫されています。

次に学研教育みらいでございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「人権の取扱い」「組織・配列」に特色がみられます。いじめ防止、いじめ問題に対応できる力をはぐくむ教材や、「いのちの教育」に関わる教材が全学年で適切に取り扱われ、様々な視点からアプローチから、いじめを生まない力を引き出せるよう配慮されています。このような理由から、選定委員会で推薦されております。

最後に廣済堂あかつきでございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「創意工夫」に特色がみられます。「学習の道すじ」には教材について考える道すじを示し、話し合いのきっかけとなる問いや自分自身と結びつけて考えを深めることができる問いを設け、子どもたちが主体的に考え、道徳的实践を主体的に行う意欲と態度を育めるように配慮されています。

以上です。

○教育長

それでは、特別の教科 道徳の審議をよろしくお願いします。

○委員

それぞれの特徴はよくわかりましたが、選定委員会では主に、どんな点が議論の柱になっていたのでしょうか。教えていただけますか。

○選定委員長

特に選定委員会では、「今日の課題であるいじめや情報モラルなどについて、どのように取り扱われているか」、また「児童が話し合う活動等によって多様な価値観にふれ、学習を通じてしっかりと自分と向き合い振り返るための工夫が、どのようにされているか」といった2点が議論の柱となりました。

○教育長

今回も各社で「考え、議論する道徳」を実現するための工夫が色々となされているように思います。今の報告も受けまして、ご意見はございませんか。

○委員

それでいうと光村図書では、全ての教材で対話的な学習に向けた工夫があります。例えば6年生の22ページを開いてください。子どもたちが教材について考えたことを対話的な学習に発展させるために適切に導いています。一方、光文書院では先ほど選定委員会のお話にもありましたが、全ての学年でロールプレイの学習が取り入れられています。例えば同じく6年生の22ページを開いてください。体験的な学習を通

じて、子どもたち自身で問題解決的な進め方ができるように工夫されているようにおもいました。

○教育長

学習の流れを確立するという点でみますと、それぞれ会社ごとに特徴はありますが、教育出版では「考えよう」「深めよう」「つなげよう」、日本文教出版では「考えてみよう」「見つめよう 生かそう」のコーナーが各教材に対して設けられており、先生にも子どもにもわかりやすい学習の流れが提示されているように思います。子どもたち自身で問題解決的な学習が展開していくための手立てとしても、とても工夫されていると思います。選定委員会の論点のとおり、子どもたちを取り巻く現代的な課題を取り上げた教材も含めて、あらゆる教材について、主体的に学習に取り組める工夫が必要であると感じます。

○委員

今お話に出てきた子どもたちを取り巻く現代的な課題として「いじめの問題」や「情報モラル」がありますが、各社ともバランスよく取り扱っているように思います。特にいじめの問題については、選定委員会の報告にもあったように、東京書籍、日本文教出版、学研教育みらいに特色があると挙げられていました。東京書籍では「いじめのない世界へ」というユニット教材を全学年で取り入れています。例えば、5年生の37ページからご覧ください。扉絵から始まり、子どもたちに身近な教材と、間接的な教材を効果的に組み合わせ、いじめを許さない心を育てるよう工夫されているなどと思いました。

○委員

日本文教出版でも、いじめの取り扱いについては、各学年で定期的にユニット教材として取り入れられ、多様な角度からいじめを許さない、見過ごさない心を育てるよう工夫されていると思います。3年生の92ページをご覧ください。いじめを直接的に扱う教材、間接的に扱う教材で多様な学習した後、「心のベンチ」というコラムを設けられているので、学んだことを自分の生活と結びつけ深められるのではないかと思います。

○教育長

今、いじめの話題が中心になっていますが、他にございませんか。

○委員

学研教育みらいでは、いじめ防止につながる教材ももちろん取り上げていますが、「いのちの教育」という観点からもアプローチしています。2年生の113ページや3年生の67ページをご覧ください。扉のページに大きな写真やメッセージを込め、教材へとつながっていきます。今の子どもたちが命の大切さをしっかりと学んでいく必要性を考えると、とても大切なことではないかと思います。

○教育長

評価にもつながっていくことですが、学びの記録の方法については各社工夫されていると思います。今回も学校図書、日本文教出版、廣濟堂あかつきの3社については別冊が用意されていますが、「子どもたちの学びを深める」という観点で、何かご意見ございますか。

○委員

学校図書は「きづき」で教材にふれ、分冊の「まなび」で自分の考えを書いたり、友だちと考えを交流したり、いくつかの教材をまとめて記録できるように工夫されています。

一方、日本文教出版の別冊ノートは、一つの教材についてじっくりと取り組める工夫がされています。例えば別冊ノートの5年生の2ページを開いてください。上段にその教材について自分の考えを書き、下段はフリースペースになっていて友達の考えを書いたり、交流したりと、様々な授業が展開できるように工夫されています。子どもたちがその日学んだ教材について自分の考えを深めるという点では、私は日本文教出版の別冊ノートの方がよりよいのではないかと思います。

○委員

廣濟堂あかつきも、自分の考えをじっくりと振り返る項目や、その日その日に学んだことを「学習の記録」に記せるよう工夫されています。ただノートの方に解説も丁寧に示されておりますので、シンプルに教材に対する自分の考えを書くことができるという見方をすれば、私も日本文教出版の別冊ノートの方がよいと感じました。また友だちの多面的な考え方への気づきにつながり、学びを深めることができるのではないかと思います。

○教育長

それぞれの意見を聞かせていただく中で、やはり現代的な課題も含めて、子どもたちが自分の事として課題を捉え、そして考えられるような工夫が、教科書を採択するうえで大切である、というのが主な意見であったのかなと思います。さらに多様な考えに触れる中で自分を振り返り、藤井寺市の子どもたちに「より良く生きるための基盤となる道徳性」を育ていける事が、大切なポイントであるかと思います。他に意見がございましたでしょうか。

よろしいですか。それでは採決を取ります。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

東京書籍 0 人、学校図書 0 人、教育出版 0 人
光村図書 0 人、日本文教出版 4 人、光文書院 0 人
学研教育みらい 1 人、廣濟堂あかつき 0 人

○教育長

日本文教出版が 4 名挙手されていますので、採決の結果、特別の教科 道徳は、日本文教出版を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

異議なし

○教育長

続きまして、「令和2年度使用中学校教科用図書の採択（特別の教科道徳以外）」を行います。

特別の教科道徳以外の「令和2年度使用中学校教科用図書」につきましては、平成27年度に行った、採択より4年が経過し、5年目に入ります。

本来であれば、一からの採択となるところですが、文部科学省からの通知がありますので、この通知内容をもとに、委員の先生方には、学習指導要領の趣旨と、選定委員会の答申を踏まえ、本市の生徒にとって最適な教科書を採択するために、審議をお願い致します。なお、先程もふれましたように、「令和2年度使用中学校教科用図書」につきましても、去る7月17日に藤井寺市立学校教科用図書選定委員会の答申を受けております。

本日は、その答申内容も参考にしながら審議し、採択を行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

○委員一同

異議なし

○教育長

では「令和2年度使用中学校教科用図書」採択を行います。

文部科学省からの通知内容と選定委員会の答申内容について選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

それでは説明させていただきます。

「令和2年度使用中学校教科用図書」につきましては、文部科学省初等中等教育局教科書課長からの平成31年3月29日付け通知「2020年度(新元号2年度)使用教科書の採択事務処理について」において、「平成30年度検定において新たに合格した図書がなかったため、基本的には前回の平成26年度検定合格図書の中から、採択を行うこととなること。」また、「4年間の使用実績をふまえつつ、平成27年度採択における調査研究の内容等を活用することも考えられること。」が示されています。

また、選定委員会では「平成27年度採択における教科書を継続して使用していくことがふさわしい」との答申をさせていただいております。

以上です。

○教育長

それでは、委員の先生方、特別の教科道徳以外の、中学校教科用図書の審議をお願いします。

○委員

4年間の使用実績として、選定委員会の中で、具体的な指摘はあったのでしょうか。

○選定委員長

選定委員会の中で、現在、中学校で使われている教科書に関する指摘はございませんでした。

○委員

選定委員会で、現在使用している教科書の問題点がないと判断されたのであれば、変更する必要はないと考えます。

○教育長

他にご意見がないようであれば、中学校教科用図書に関しましては、継続して、平成27年度採択した現在使用している教科書を採択することで、ご異議ありませんでしょうか。

○委員一同

異議なし

○教育長

審議の結果、中学校教科用図書については、継続して今年度と同じ教科書を採択することに決定します。

長時間にわたるご審議ありがとうございました。令和2年度使用学校教科用図書の採択は、市教育委員会事務局、府教育委員会、各学校等の積極的な協力のもと、また市民からも幅広い意見が届けられ、本日、採択の最終日を迎えることができました。

新学習指導要領の趣旨に則るとともに、本市の重点教育課題の一つでもあります「主体的・対話的で深い学びの実現」を進めていくことを念頭に置いて、教科書の採択を行い、本日無事終えることができました。

来年4月から、本日採択した教科書を用いて、本市の子どもたちがしっかり学習に励み、学力が向上していくことを期待いたします。これを持ちまして、臨時教育委員会を閉会いたします。

ありがとうございました。

会議事項が終了したので、閉会を宣する。

午後4時50分